事例No.	3181
公表年度	R6
団体の属性	都道府県
団体名	東京都

事例区分	DX

タグ	・ICT

事例種類	ローカル５G

事例内容・タイトル

第1回５G普及のためのインフラ整備推進ワーキンググループ東京都参考資料

出典

5G普及のためのインフラ整備推進ワーキンググループ（第2回）

参考資料②

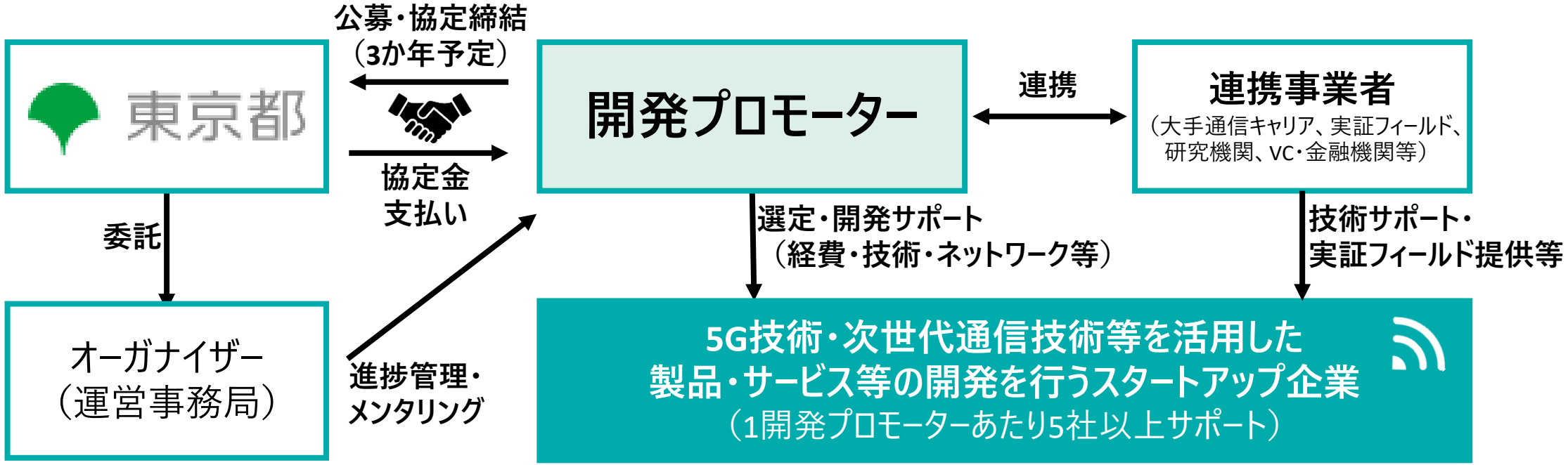
第1回５Ｇ普及のためのインフラ整備推進ワーキンググループ
東京都参考資料
各種サービス実装プロジェクトのご紹介

1. 次世代通信技術活用型スタートアップ支援事業
2. 東京都スマートサービス実装促進プロジェクト
3. 地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業
4. データ連携・活用促進プロジェクト
5. 西新宿先端サービス実装・産官学コンソーシアム

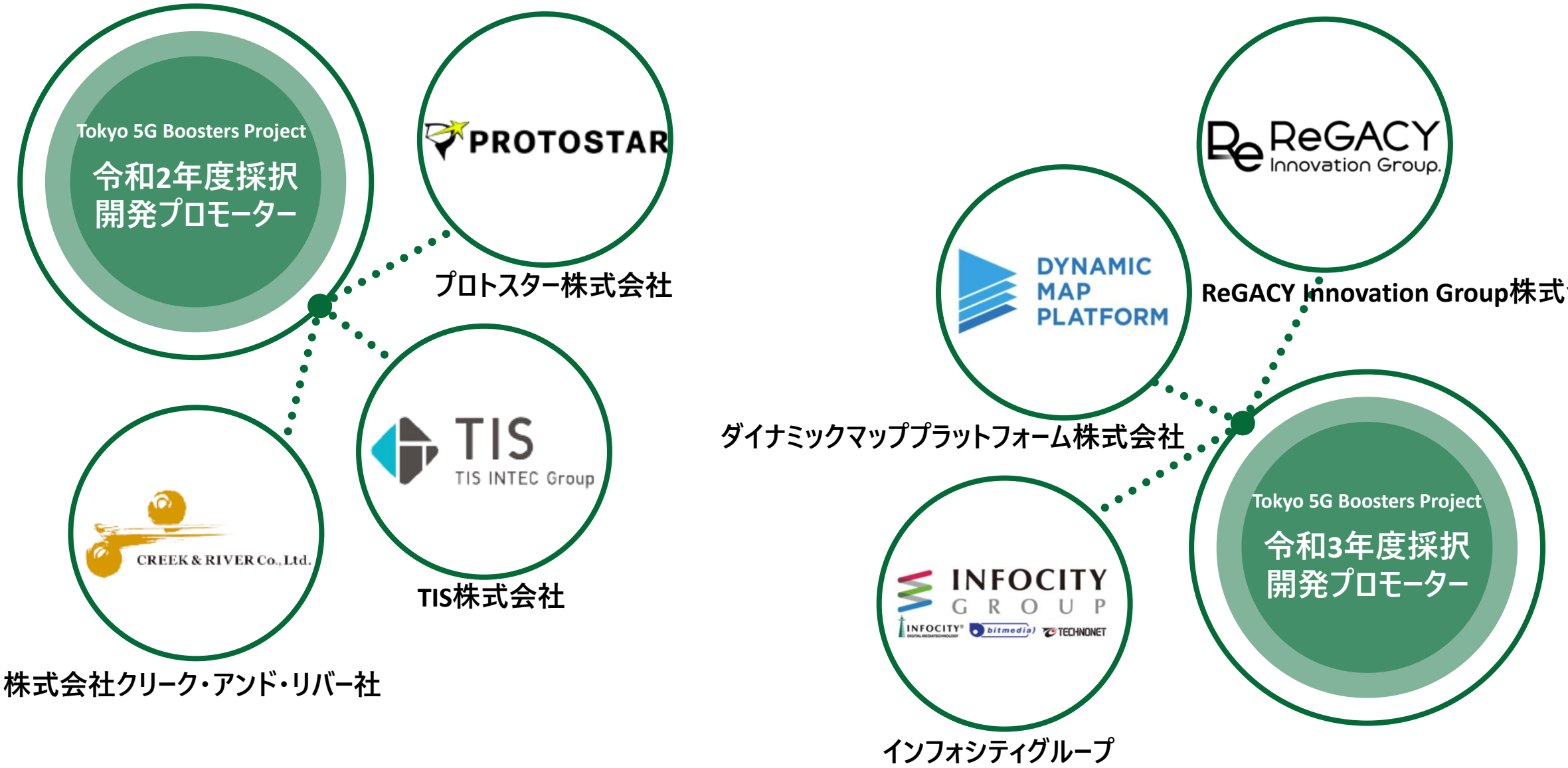
2024年 4 月 東京都デジタルサービス局

次世代通信技術活用型スタートアップ支援事業概要

- 東京都では、スタートアップ企業等による5G技術を活用した新たなビジネスの確立等を促進するため、令和2年度から「**5G技術活用型開発等促進事業（Tokyo 5G Boosters Project）**」を実施してきました
- また令和5年度から、その先の次世代通信技術も見据えて、「**次世代通信技術活用型スタートアップ支援事業（Tokyo NEXT 5G Boosters Project）**」を開始しました
- 両事業では、東京都と協働して5G・次世代通信技術を活用した製品・サービスを有するスタートアップ支援を行う事業者を「**開発プロモーター**」として公募・選定し、スタートアップ企業に対して複数年にわたって多角的な支援を行っています

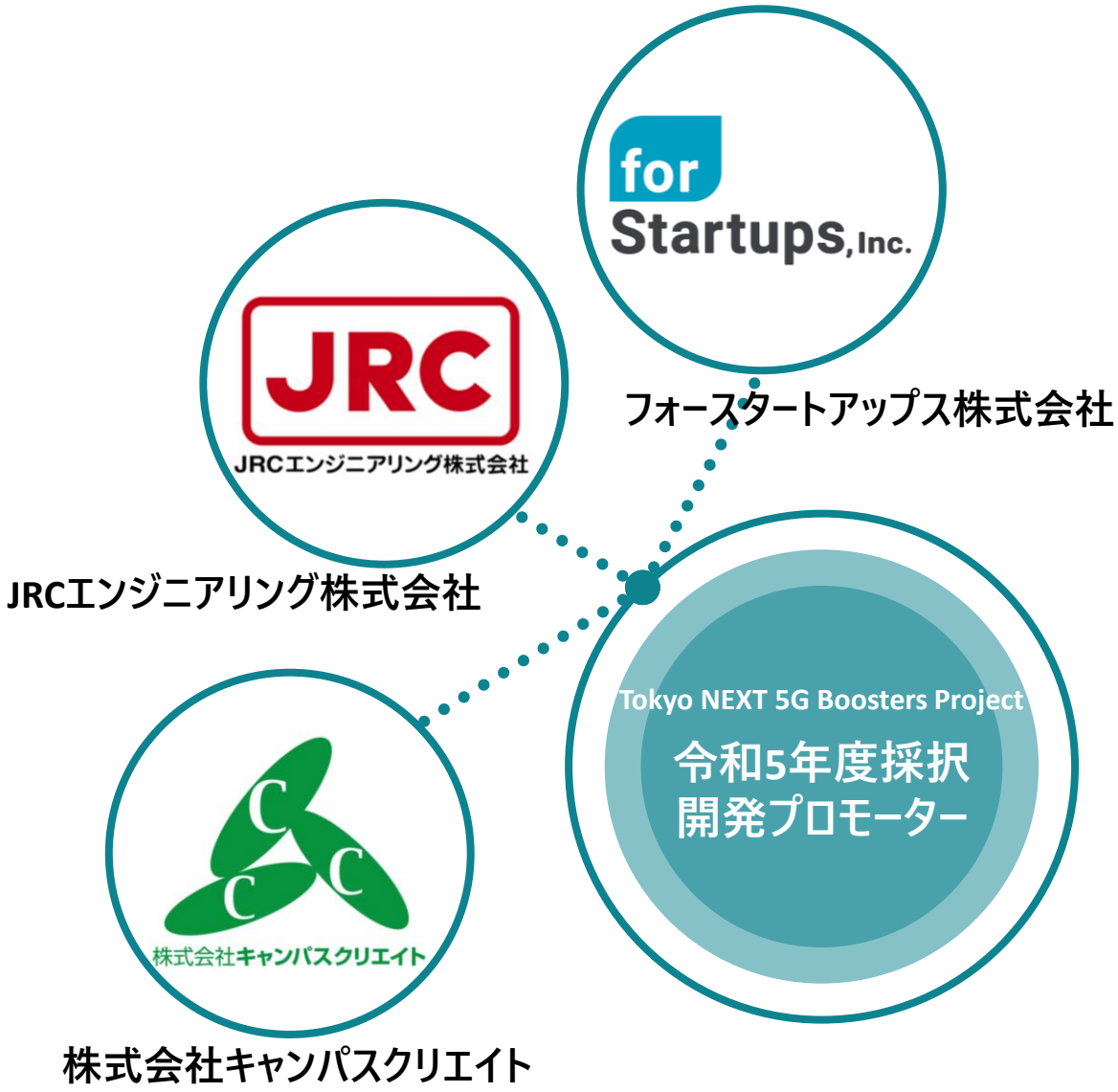


次世代通信技術活用型スタートアップ支援事業 開発プロモーター紹介



次世代通信技術活用型スタートアップ支援事業 開発プロモーター紹介





スマートサービスの実装

東京都スマートサービス実装促進プロジェクト

現状・課題・背景

スマートシティ基盤上で機能する「サービス実装の実事例」の集積が必要

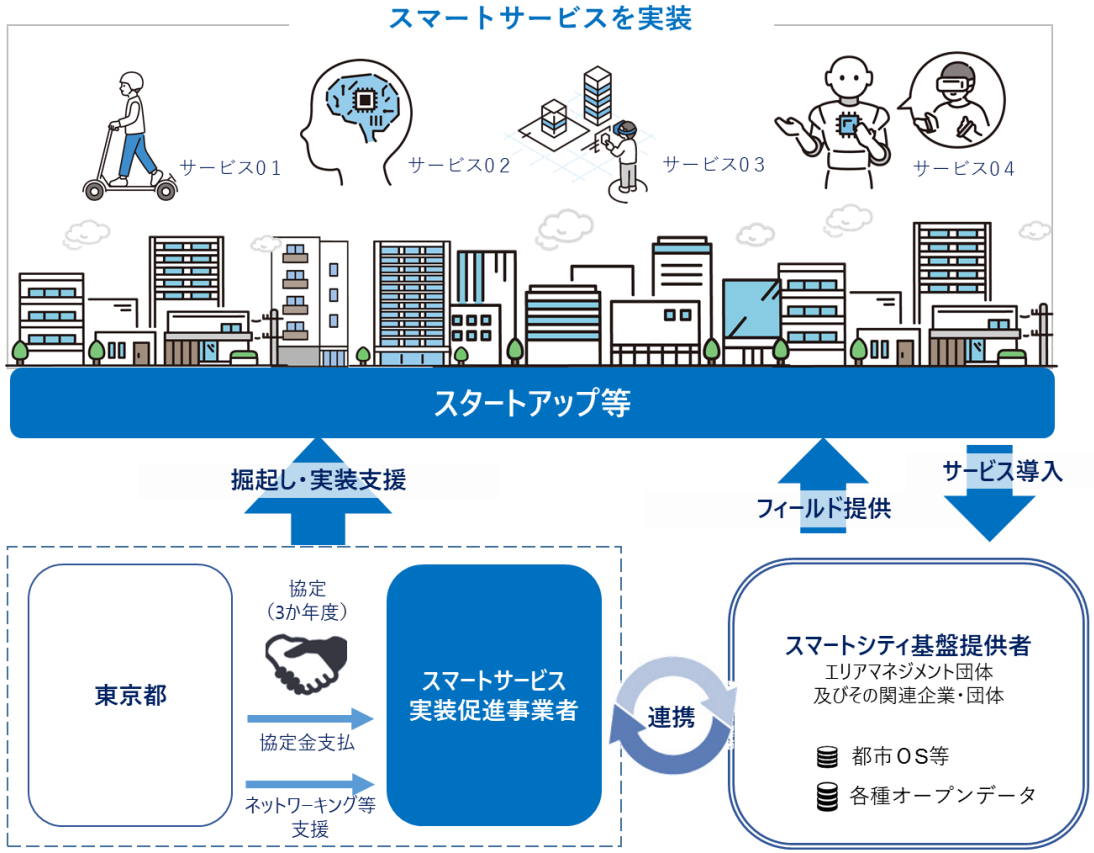
- ✓ スマートシティの推進に向け、都民のスマートシティへの受容性向上が重要であるものの、そもそも住民等ユーザーがその利便性を実感できていない現状
- ✓ 他方、都市OSなどデータ連携基盤が本格稼働していく中で、実証実験にとどまっている現状
- ✓ 住民等ユーザーがQOLの高まりを実感できるよう、たとえスモールであっても実サービスとして稼働する事例を積み重ね、実装事例を元に次々に新たなサービスの創出やデータ・サービス間連携が進められていくサイクルを生み出してくことが必要

スタートアップによるスモールでもサービス実装事例の創出を急ぐ

- ✓ 都市・街のスマート化の取組を加速させるためには、スマートサービス実装の実事例をスモールであってもクイックに創出していく必要
- ✓ 機動力・先進性のあるスタートアップの力を活かし、スタートアップとスマートシティ基盤運用・提供者等との協業を促していくことで、スマートサービスの実装を加速

▶ **スタートアップによるスマートサービスの実装を促進する枠組みを構築し、スマートサービス実装の実事例の速やかな集積を図っていく**

事業概要



	R４（２０２２）年度	R５（２０２３）年度	R６（２０２４）年度	R７末の到達点
採択数および実装数	第一期3件採択 （R6までに60件以上実装）	第二期3件採択 （R7までに60件以上実装）	第三期3件採択、累計60件以上実装 （R8までに60件以上実装）	累計120件以上実装

スマートサービス実装促進事業者一覧

令和4年度採択

TIS株式会社

システムインテグレーション、システム開発、アウトソーシング、コンサルティング、クラウドサービスを中心に事業展開。多様な業種のビジネスパートナーとして、「成長戦略を支えるためのIT」を提供

Plug and Play Japan株式会社

日本から世界へ、世界から日本へ可能性を広げ、グローバル規模で時代をリードする企業が多数輩出されるイノベーションプラットフォームの構築を目指し、大手企業と国内外のスタートアップの共創を支援

株式会社ボーンレックス

WakuWaku the Worldをミッションに、主に新規事業の事業化を支援。対象は個人起業家から成長中のスタートアップ、大企業まで様々で、ミッション策定からビジネスモデル構築、PoCを経てリリースに至るまで伴走型でトータルサポート

令和5年度採択

株式会社unerry

リアル行動ビッグデータを活用した「分析・可視化サービス」、「行動変容サービス」、「one to one サービス」を様々な企業や自治体へ提供し、主にリテールDXやスマートシティの領域にてサービス開発・高度化に貢献

CIC Toranomon合同会社

日本最大級のスタートアップ集積拠点であるCIC Tokyoでイノベーション創出プロジェクトを実施。政府や地方自治体、大学などと連携しスタートアップの成長支援や、エコシステム構築業務を担う。

株式会社デジタルガレージ

スタートアップへの投資や最先端のテクノロジーを社会実装し、次世代テクノロジーを軸に新しいコンテクストを生み出す。スタートアップアクセラレータープログラム「Open Network Lab」ではスタートアップの育成・社会実装を推進

スマートサービスの実装

地域を主体とするスマート東京先進事例創出事業

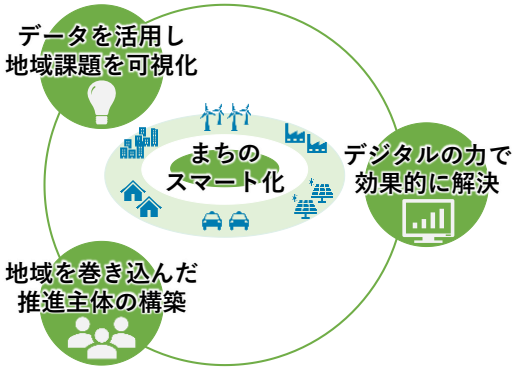
現状・課題・背景

地域が主役となる“街のスマート化”を推進

✓ 最先端のサービスを実装した「スマート東京」実現への歩みを加速するため、スマート東京先行実施エリアの取組を更に進め、その成果を都内全域へと広げていくセカンドステージへとバージョンアップさせるとともに、**地域が主役となる“街のスマート化”の取組を進めていくことが必要**

▶デジタルの力を活用し住民ニーズや地域課題の解決に取組む区市町村等に対し、先行実施エリア等の取組で培った知見やネットワークを活用し、支援することで、都内各地の”街のスマート化”を、地域が主役となる「街のスマート化」の観点から、強力に後押ししていく。





事業概要

✓ 区市町村や大学、地場企業等地域の様々な主体による地域主導のスマートシティ化の取組を行おうとしている地域コンソーシアムを公募・採択（年３件）

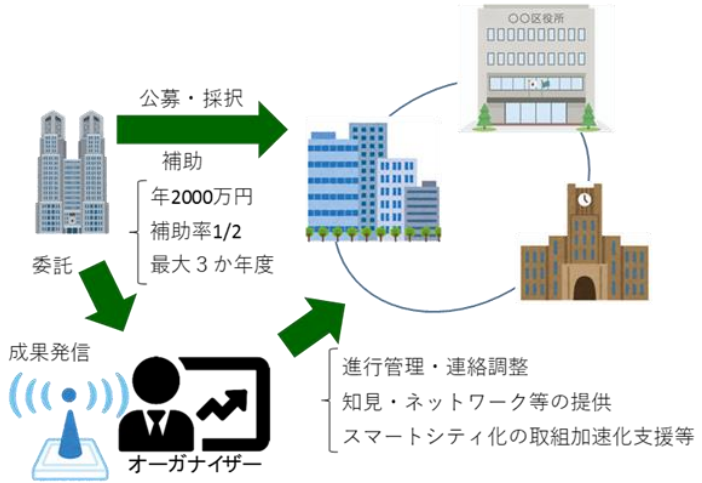
⇒新規の公募・採択はR４～R６までの当初３年間を想定

✓ 採択先に対して、最大で３か年度、スマート化のための取組に係る経費を補助

⇒１年の補助上限額2000万円（補助率１／２）

✓ 都が委託するオーガナイザーが知見・ネットワークの提供、取組成果の効果的な発信等を実施

➢ **スマート化の加速と成果事例の水平展開を図っていく**



R４年度	R５年度	R６年度	R７年度	R８年度	R９年度～R12年度

墨田区、板橋区、港区、多摩市（※）（※1年間）

東村山市、狛江市、多摩市（※）

（※R6年度末まで）

3地域

区部・市部それぞれで拠点となる地域を確立
他地域へ展開可能な事例を多数創出

データ活用とスマートサービス普及促進
都内全域で分野横断型のサービスを社会実装
「未来の東京」戦略10

データ連携・活用促進プロジェクトについて

1 事業概要

構築した都市OSを用いて**データ連携に取り組む事業者**（タイプⅠ[連携型]）、または都市OSの構築などにより**データ連携を準備する事業者**（タイプⅡ[連携準備型]）に対し、協定金を支払うことにより地区外とのデータ連携を促進し、スマートシティの広域化及び高度化を図る。

2 事業内容

【対象地区】６地区

タイプⅠ：3地区
タイプⅡ：3地区

【支援内容】協定金を支給

タイプⅠ：5千万円／年
タイプⅡ：3千万円／年

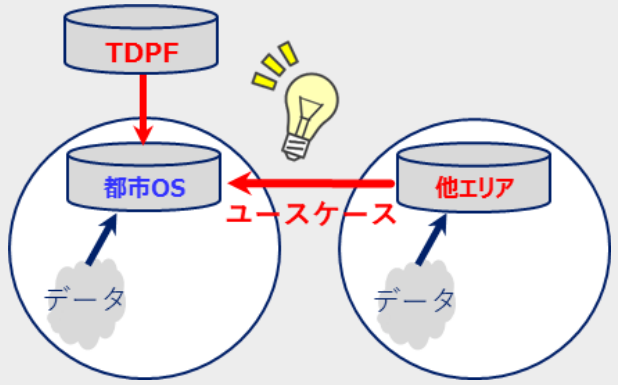
【支援期間】2か年

【支援対象】

エリアマネジメント等民間事業者
自治体等

タイプⅠ［連携型］

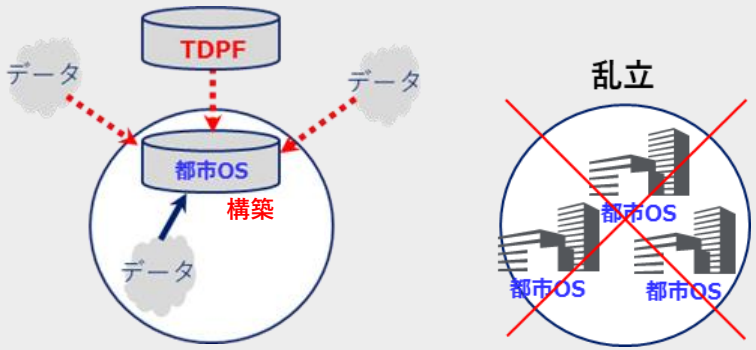
データ連携に取り組む事業者を支援



TDPFや他エリアとデータを連携することにより広域的なサービス提供を実現

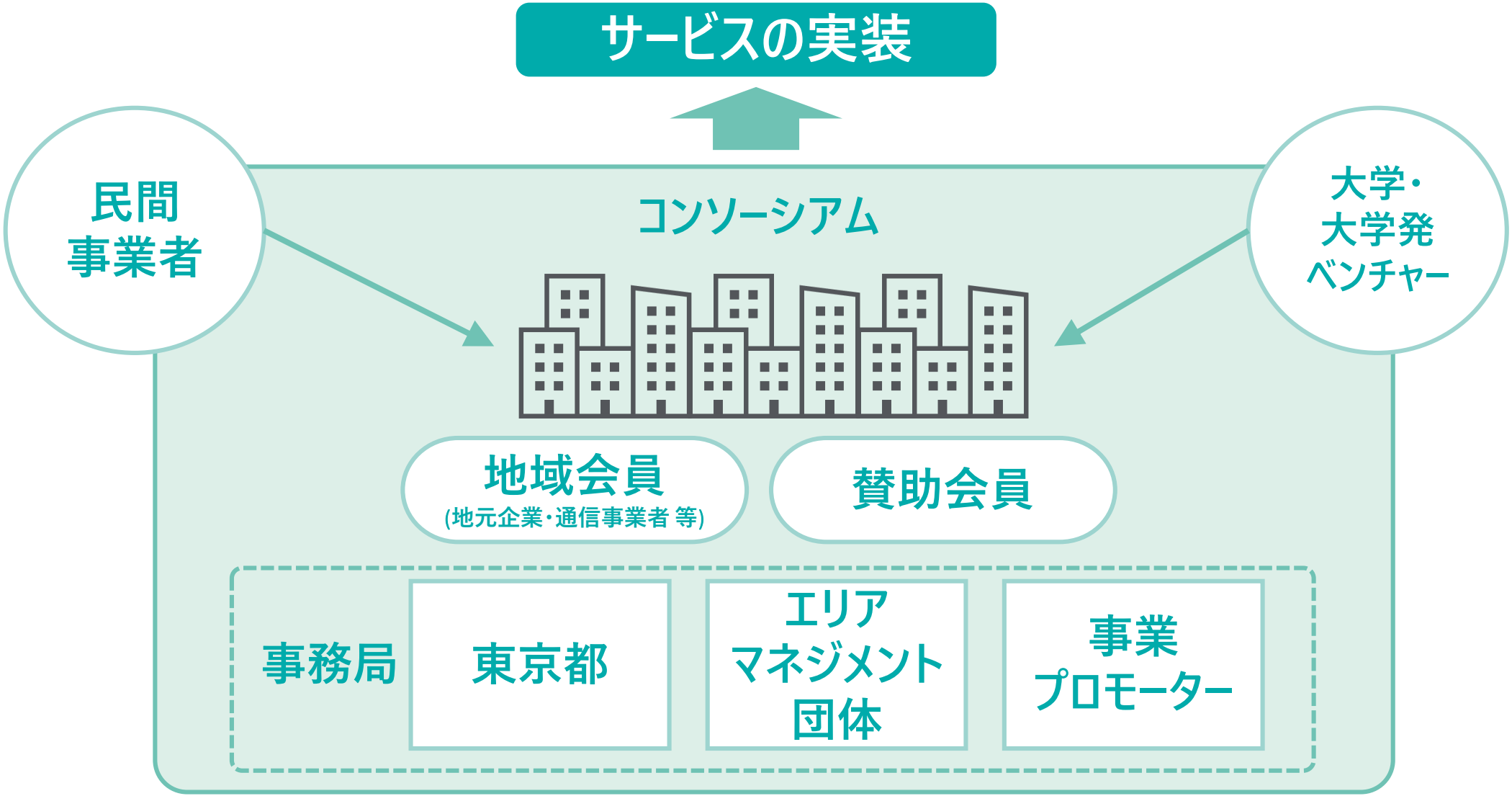
タイプⅡ［連携準備型］

データ連携を見据えて都市OSを構築する事業者を支援



将来的にTDPFや他エリアとデータを連携することにより広域的なサービス提供が実現できるよう誘導

西新宿先端サービス実装・産官学コンソーシアム_概観図



西新宿先端サービス実装・産官学コンソーシアム_分科会

分科会

- 共通のテーマを持つ会員同士が連携し、サービス実装に向けた意見交換・課題解決を行う活動単位
- 令和5年度に新たに3件の分科会が設立され、計8件の分科会が取組を推進中

都市サービスの創出と実装を実現するデジタルツイン分科会



地域の魅力向上に向けたＸＲの都市実装検討分科会



新たな都市物流を実現する自動配送分科会



地域の認知度向上・事業参画を促進するデータ連携P/F分科会



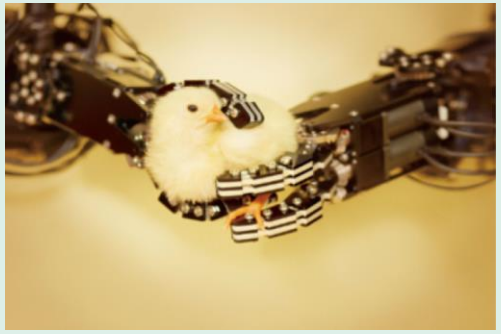
建物のロボットフレンドリー化を活用した新たなワークスタイル検討分科会



先端技術を活用したユニバーサルコミュニケーション分科会



感触制御技術を活用した社会課題の解決手段の検討分科会



AIを活用した「居心地」測定分科会

